



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 瀧上工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 5918 URL <http://www.takigami.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧上晶義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 岩田 亮 TEL 0569-89-2101
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,333	23.3	298	236.2	717	54.5	627	102.1
2022年3月期第3四半期	10,812	△8.1	88	△60.5	464	△20.3	310	7.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 866百万円 (82.1%) 2022年3月期第3四半期 475百万円 (△16.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	286.26	—
2022年3月期第3四半期	141.86	—

(注) 1株当たり当期純利益は、信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	48,381	37,772	78.1	17,228.82
2022年3月期	48,814	37,103	76.0	16,945.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 37,772百万円 2022年3月期 37,103百万円

(注) 1株当たり純資産は、信託口が保有する当社株式を期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めて算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	50.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	12.4	250	—	650	196.2	850	512.8	387.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	2,697,600株	2022年3月期	2,697,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	505,204株	2022年3月期	508,040株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	2,191,228株	2022年3月期3Q	2,188,103株

(注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行 (信託口)」が保有する当社株式 (2023年3月期3Q 17,100株、2022年3月期 18,000株) が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行 (信託口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2023年3月期3Q 17,375株、2022年3月期3Q 18,297株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 受注高	11
(3) 受注残高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、完成工事高133億3千万円(前年同期比25億2千万円増・23.3%増)、営業利益2億9千万円(前年同期比2億円増・236.2%増)、経常利益7億1千万円(前年同期比2億5千万円増・54.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億2千万円(前年同期比3億1千万円増・102.1%増)となりました。

なお、当社は、子会社の東京フラッグ株式会社を当第3四半期連結累計期間より連結の範囲に含めたことにより、当該子会社の業績を連結損益計算書に含めております。また、事業セグメントにつきましては「鋼構造物製造事業」に含めております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①鋼構造物製造事業

鋼構造物製造事業の状況につきましては、受注高は当第3四半期連結累計期間で225億3千万円(前年同期比148億4千万円増・192.8%増)となりました。

四半期損益につきましては、当社で第2四半期と同様に新たな橋梁物件で工事損失引当金が発生いたしましたが、当社の工場稼働は、引き続き堅調に推移したため工事出来高も増加いたしました。また、道路橋を中心とした設計変更の増加や当該セグメントの子会社業績も増加したことから、完成工事高106億5千万円(前年同期比21億3千万円増・25.1%増)、営業損失6百万円(前年同期は6千万円の営業損失)となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、期初の商業ビル売却による収益減少の要因はありましたが、既存物件の収益は第2四半期に引き続き順調に推移いたしました。また、子会社の売上高も増加したため、第3四半期連結累計期間でも前年同期水準の売上高を維持することができました。この結果、売上高7億3千万円(前年同期比3千万円増・4.5%増)、営業利益4億7千万円(前年同期比6千万円増・15.5%増)となりました。

③材料販売事業

材料販売事業につきましては、厚板部門は、当社との取引量が回復いたしました。在庫評価等が売上原価の増加に影響したため、収支は鈍化する結果となりました。レベラー部門は、引き続き加工数量は安定しており、収支も微増となりました。鉄筋建材部門は、グループ外取引を中心に土木製品や鉄筋加工取引が安定しており、収支も増加となりました。この結果、売上高22億7千万円(前年同期比8億1千万円増・55.2%増)、営業利益4千万円(前年同期は1千万円の営業損失)となりました。

④運送事業

運送事業につきましては、グループ内取引については、橋梁の製品輸送取引が減少するなか、売上高は架設工程の遅延等により減少傾向となりました。また、グループ外取引については、コロナ禍の影響もあり、荷主の設備投資が先送りになる等、総じて取引は減少する結果となりました。この結果、売上高2億5千万円(前年同期比5千万円減・17.8%減) 営業損失1千万円(前年同期は2千万円の営業損失)となりました。

⑤工作機械製造事業

工作機械製造事業につきましては、世界的な脱炭素化への転換による自動車製造業の市場変遷やサプライチェーンの混乱、物価高騰等が重なり、既存クライアントを含む動向は、先行き不透明な状況が継続しております。また、自動車関連以外の取引も一時的であったことから、売上高8千万円(前年同期比2千万円減・20.8%減)、営業損失1千万円(前年同期は9百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は483億8千万円(前連結会計年度末比4億3千万円減・0.9%減)となりました。流動資産は、211億6千万円(前連結会計年度末比13億1千万円減・5.9%減)、固定資産は、272億2千万円(前連結会計年度末比8億8千万円増・3.4%増)となりました。

負債は106億円(前連結会計年度末比11億円減・9.4%減)となり、それぞれ、流動負債は54億9千万円(前連結会計年度末比12億6千万円減・18.8%減)、固定負債は51億1千万円(前連結会計年度末比1億6千万円増・3.4%増)となりました。純資産は、377億7千万円(前連結会計年度末比6億6千万円増・1.8%増)となりました。この結果、自己資本比率は78.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年11月14日に公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,624	9,273
受取手形・完成工事未収入金等	9,028	10,331
有価証券	1,100	100
商品及び製品	76	63
材料貯蔵品	468	690
未成工事支出金	108	176
その他	1,071	525
流動資産合計	22,478	21,160
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産(純額)	8,212	6,615
その他(純額)	6,115	7,027
有形固定資産合計	14,328	13,643
無形固定資産		
ソフトウェア	45	39
その他	16	14
無形固定資産合計	62	54
投資その他の資産		
投資有価証券	11,645	13,136
その他	299	386
投資その他の資産合計	11,945	13,523
固定資産合計	26,335	27,221
資産合計	48,814	48,381
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,021	3,628
未成工事受入金	460	202
未払法人税等	79	271
工事損失引当金	121	485
その他の引当金	224	100
その他	1,852	802
流動負債合計	6,759	5,490
固定負債		
長期借入金	666	746
その他の引当金	209	212
退職給付に係る負債	972	974
繰延税金負債	2,623	2,699
その他	479	486
固定負債合計	4,951	5,118
負債合計	11,710	10,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	395	403
利益剰余金	33,368	33,775
自己株式	△2,716	△2,700
株主資本合計	32,409	32,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,701	4,939
退職給付に係る調整累計額	△7	△6
その他の包括利益累計額合計	4,693	4,932
純資産合計	37,103	37,772
負債純資産合計	48,814	48,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
完成工事高	10,812	13,333
完成工事原価	9,551	11,666
完成工事総利益	1,261	1,667
販売費及び一般管理費	1,172	1,368
営業利益	88	298
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	332	379
賃貸収入	25	27
その他	27	20
営業外収益合計	395	437
営業外費用		
自己株式の取得に関する付随費用	2	2
賃貸費用	9	9
投資有価証券評価損	4	2
その他	3	2
営業外費用合計	19	18
経常利益	464	717
特別利益		
固定資産売却益	7	189
投資有価証券売却益	0	—
投資有価証券償還益	0	—
負ののれん発生益	—	42
その他	—	1
特別利益合計	9	232
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	4	7
投資有価証券売却損	4	10
投資有価証券評価損	—	3
投資有価証券償還損	0	—
環境対策費	—	6
特別損失合計	11	28
税金等調整前四半期純利益	461	921
法人税、住民税及び事業税	112	353
法人税等調整額	39	△59
法人税等合計	151	294
四半期純利益	310	627
親会社株主に帰属する四半期純利益	310	627

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	310	627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162	238
退職給付に係る調整額	3	0
その他の包括利益合計	165	239
四半期包括利益	475	866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475	866
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当社は2022年3月2日に締結した株式譲渡契約により、東京フラッグ株式会社の全株式を取得して子会社化をし、当該子会社を連結子会社として連結の範囲に含めております。また、みなし取得日を第2四半期連結会計期間末としているため、貸借対照表は、第2四半期連結会計期間末より連結し、損益計算書は、当第3四半期連結会計期間より連結しております。

なお、当該連結の範囲の変更については、当四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えます。当該影響の概要は、連結貸借対照表の総資産額の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	8,516	702	1,270	189	109	10,787	25	10,812	-	10,812
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	197	117	-	314	-	314	△314	-
計	8,516	702	1,467	306	109	11,102	25	11,127	△314	10,812
セグメント利益 又は損失(△)	△69	408	△10	△24	△9	294	13	307	△219	88

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおり
ます。

2. 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△314百万円及び「セ
グメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額1百万円、セグメント間未実現利益の消去
額0百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△220百万円を含んでおります。

3. 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	工作機械 製造事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,653	733	1,733	99	86	13,307	26	13,333	-	13,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	544	152	-	697	-	697	△697	-
計	10,653	734	2,278	251	86	14,005	26	14,031	△697	13,333
セグメント利益 又は損失(△)	△6	471	47	△18	△10	484	15	499	△201	298

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△697百万円及び「セグメント利益又は損失(△)」には、セグメント間取引の消去額0百万円、セグメント間未実現利益の消去額△0百万円及び親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△202百万円を含んでおります。

3. 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結累計期間において、東京フラッグ株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は「鋼構造物製造事業」において888百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「鋼構造物製造事業」セグメントにおいて、東京フラッグ株式会社の全株式を取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は当第3四半期連結累計期間において42百万円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	7,113	65.8	8,730	65.5	9,644	65.7
鉄 骨	1,402	13.0	1,923	14.4	1,975	13.5
小 計	8,516	78.8	10,653	79.9	11,620	79.2
不 動 産	702	6.5	733	5.5	951	6.5
材 料 販 売	1,270	11.7	1,733	13.0	1,705	11.6
輸 送	189	1.8	99	0.7	233	1.6
工 作 機 械	109	1.0	86	0.7	135	0.9
そ の 他	25	0.2	26	0.2	32	0.2
合 計	10,812	100.0	13,333	100.0	14,678	100.0

(2) 受注高

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	6,873	89.3	19,910	88.3	11,325	77.9
鉄 骨	823	10.7	2,626	11.7	3,214	22.1
合 計	7,696	100.0	22,536	100.0	14,540	100.0

(3) 受注残高

区 分	前第3四半期連結会計期間末 (2021年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2022年12月31日)		前連結会計年度末 (2022年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	16,701	95.9	29,802	90.2	18,622	88.0
鉄 骨	716	4.1	3,237	9.8	2,534	12.0
合 計	17,418	100.0	33,040	100.0	21,157	100.0